【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第４部門第１区分
【発行日】平成17年4月21日(2005.4.21)

【公開番号】特開2001-207503(P2001-207503A)
【公開日】平成13年8月3日(2001.8.3)
【出願番号】特願2000-14950(P2000-14950)
【国際特許分類第７版】
　Ｅ０３Ｄ　5/10
　Ｅ０３Ｄ　9/08
【ＦＩ】
　Ｅ０３Ｄ　5/10
　Ｅ０３Ｄ　9/08　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成16年6月16日(2004.6.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　発光素子と受光素子とを備え、発光素子から発した光の反射を受光素子が受けた受光レベルが第一規定レベルを超えかつこの超えた時間が所定時間以上継続したとき給水部を作動させる給水制御装置において、
　上記第一規定レベルより高い第二規定レベルを設け、上記受光レベルが上記第一規定レベルを超えた時間が上記所定時間以上継続する前に上記第二規定レベルを超えると、上記給水部を作動させないことを特徴とする給水制御装置。
【請求項２】
　上記受光レベルが上記第一規定レベルと第二規定レベルの間で変動幅が特定範囲内であって、その状態が上記所定時間以上継続したとき給水部を作動させることを特徴とする請求項１記載の給水制御装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
　　【０００５】
　　【課題を解決するための手段】
　上記課題を解決するための技術的手段について説明する。請求項１においては、第一規定レベルより高い第二規定レベルを設け、上記受光レベルが上記第一規定レベルを超えた時間が上記所定時間以上継続する前に上記第二規定レベルを超えると、上記給水部を作動させないため、受光レベルが第一規定レベルを瞬間的でも超えた場合は、手以外のものを感知したと判断することにより、手に比べて明るい色の衣服などの受光レベルの高い物体が感知領域に入った時に誤動作を防ぐことができる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２７
【補正方法】変更

【補正の内容】
【００２７】
【発明の効果】
発光素子と受光素子とを備え、発光素子から発した光の反射を受光素子が受ける受光レベルが第一規定レベルを超えかつこの超えた時間が所定時間以上継続したとき給水部を作動させる給水制御装置において、上記受光レベルが上記第一規定レベルを超えた時間が上記所定時間以上継続する前に上記第二規定レベルを超えると、上記給水部を作動させないため、一定の範囲の受光レベルが規定以上の時間継続しない場合は、感知状態と判断しないことにより誤動作を防ぐことができる。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２９
【補正方法】削除
【補正の内容】